

# とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都港区高輪 1-5-38
園名	ミアヘルサ保育園ゆらりん高輪

## 1 活動のテーマ

<テーマ>

感情

<テーマの設定理由>

5歳児が入園してきた際、コロナウィルス感染症の発症・流行によりマスクの着用が必要となり、表情や感情を汲み取ることが難しく、他児との距離も制限され、幼少期に築かれるべきはずであった他者との関わり、コミュニケーションの不足に繋がっているのではないかと感じた。この活動を通して、自分の感情と向き合い、感情を整理する方法を見つける手がかりになるのではないかと感じた。特に喜怒哀楽に着目し、自分の感情の表現の仕方を様々な体験を通じて身に付けていけたらと思う。活動を重ねることで幼児クラス、特に5歳児の子どもたちがポジティブで前向きな思考や発言の探索につながるのではないかと考える。

## 2 活動スケジュール

7月10日 感情とは何かについて知る。  
7月11日 感情とは何かについて知る。  
8月6日 「喜び」について知る。  
8月8日 「喜び」について知る。  
9月12日 「怒り」について知る。  
10月3日 「哀しみ」について知る。  
11月28日 色で自分の感情を表現してみよう。  
12月4日 自分自身の感情を表現したTシャツ作りをする。  
12月24日 政策したTシャツを着て自己表現を楽しむ。  
2月14日 せいかつ発表会で保護者に披露する。

## 3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

壁面、舞台（3分）、不織布（赤）、養生テープ（赤）  
BGM、衣装、カメラ、動画撮影カメラ、マイク

## 4 探究活動の実践

### <活動の内容>

ファッションショーで自分で作った T シャツを披露する。

### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

ファッションショーが始まるまでは緊張している様子で「昨日の夜楽しみであまり眠れなかった!」「恥ずかしいなあ、緊張するかも。」とドキドキしている様子であった。始まると少し緊張している様子ではあったが、堂々と舞台に立っていた。ファッションショーが終わった後日、ファッションショーの動画を見た時に自分の映っている姿を見て恥ずかしがって他児の後ろに隠れたり、手で顔を隠したりしていた。本番では緊張している様子があったが、全員笑顔で参加することができていた。

## 5 振り返り



### <振り返りによって得た先生の気づき>

ファッションショー中は皆笑顔で参加することができていた。また、自分たちよりも小さい児に手を振ったり、ハイタッチをしてとても良い雰囲気の中で開催することができた。ファッションショー終了後には「最初は緊張したり恥ずかしい気持ちがあったが、やってみたら楽しかった!」と感想を話していた。普段の様子を見ているとネガティブな発言が多い児だが、こうしてポジティブな発言が出てきたのは大きな成果であった。

また ELMO を使用してファッションショーの様子を動画で流すことができ、今回は特に保護者から感謝の声を多くいただくことができた。「一人で舞台に立ち、注目される経験はなかなかできないのでいい経験になった。」という感想があった。